

京都市立常磐野小学校
Tokiwano elementary school

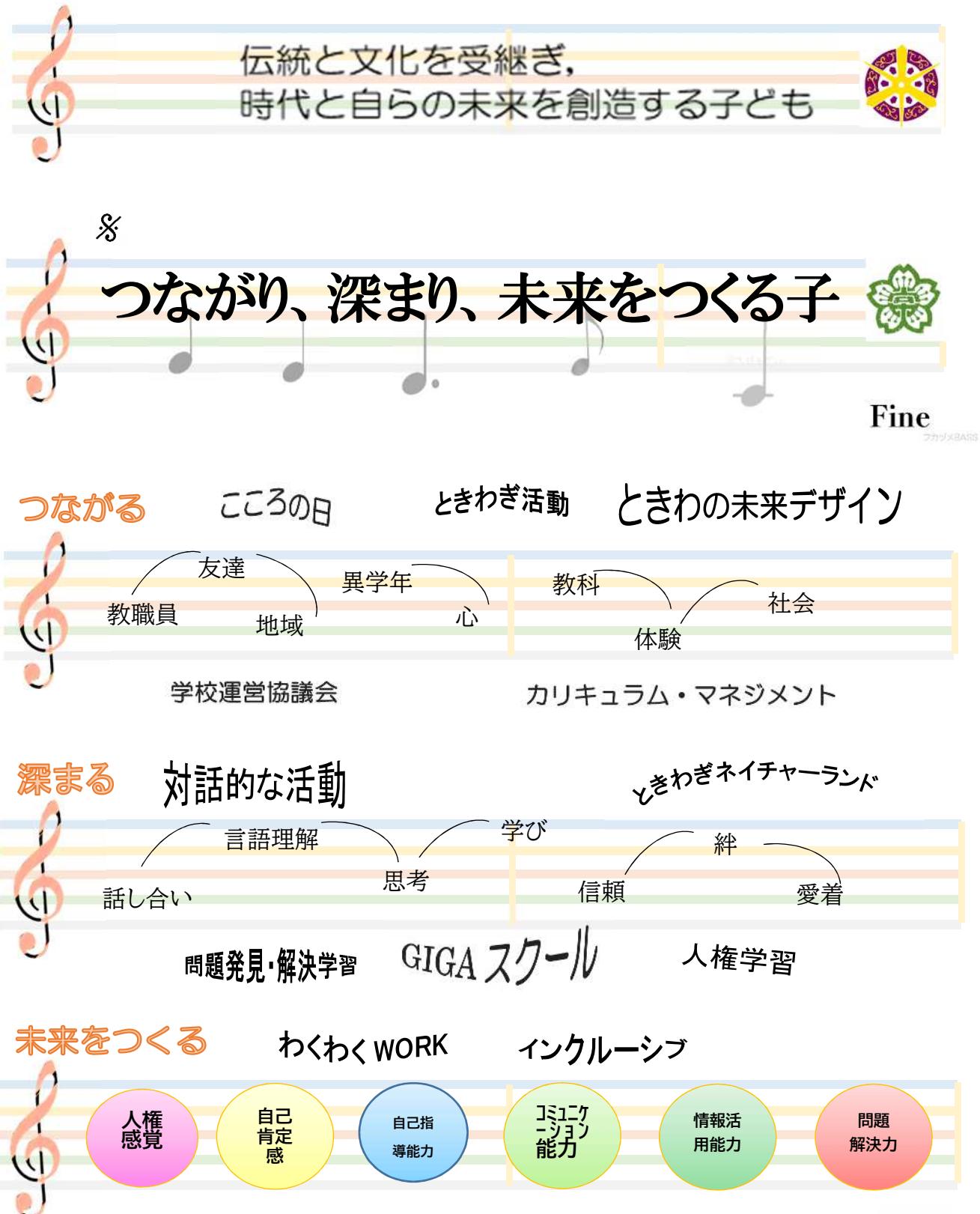
令和5年度「学校教育方針」



Connecting, Deepening, Creating.

常磐野教育構想

「すべては常磐野の子のために」





<学校教育目標の設定理由>

予測できない未来を生きていく児童に、学校教育の中で次の時代を生き抜く力をつけていかなければならない。学校教育の中で培うのは、児童が将来にわたって、よりよく生きるための力である。

人は一人で生きていくことはできない。だれもが社会の中で、人と人のつながりの中で生きている。自分の周りの人とのつながり深めることで、安定した学校・社会生活を送ることは、よりよく生きる基盤となる。

また、学校で学ぶことは、全て未来につながり、一つ一つの学びは実際の社会生活において全てがつながる。学びがつながり、深めることで生きて働く知識となり、それを活用することで人生における様々な問題解決に生かすことができる。

学校生活の中で、人と人がつながり、人と場所がつながり、学習がつながり、社会がつながり、様々なつながりをつくることで生活を豊かにし、つながりを深めるほど、自己存在感が高まり、心の安定をつくる。

学校のカリキュラムの中で、知識がつながり、体験がつながり、様々なつながりが学びを深め、経験を豊かにし、自己肯定感やねばり強さ、協調性等の非認知能力が高まり、心を成長させることができる。

安定した心と、深めた自信は、自己の未来をよりよくしようとする自己実現への礎となり、未来をつくることへとつながる。

ときわのの子(めざす子ども像)

と 友だちも自分も大切にする子
き きまりを守る子
わ わかった、できたを目指す子
の のびのびと元気な子

目指す学校像

子ども、教職員、保護者、地域がつながり、皆が互いに尊重し、協働する学校

目指す教職員像

児童一人一人と心がつながり、同僚と協働し、学びあう教職員

学校教育スローガン

考動 ~すすんでしよう~
整えよう・伝えよう・受け入れよう